

＜雪の結晶観察会の報告（福井県池田小学校において）： 令和3年2月18日＞

昨日、福井県今立郡池田小学校において雪の結晶観察会を行いました。全校生徒数は72人と多くありませんが、皆熱心に観察してくれました。理科実験機の1つに1つの顕微鏡や、ルーペを用意して、6種類の観察をしました。1限目と2限目を使って全学年が体験できました。

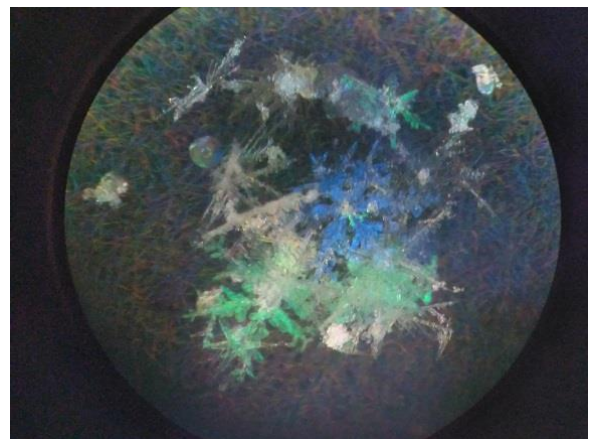
降ってくる雪を融かさないようにして理科室に持ち込み雪の結晶観察したのは、多分、全国で初めての試みだと思います。理科室は暖房してあり、写真で分かるように、観察会に参加したある学年は、体育の授業の前で半袖のシャツを着ています。しかし、暖房のために、雪の保存時間は約30分程度と、少し短かったようです。

マルチカラー照明で見たボタン雪に児童は大変感動していました。また、児童が持っているiPadで結晶写真を記録できることも分かりました。





簡易ルーペ顕微鏡の像を iPad に記録



色づいたボタン雪